

口腔管理の標準化にむけた口腔内アセスメントの有用性についての検討

○ 研究の意義・目的

お口の中にある感染の元（虫歯や歯周病、口内炎など）を治療すると、傷口の感染や手術後の肺炎などの合併症が予防できることが明らかとなっています。今後、効果的に合併症を予防するためには、正確にお口の状態を評価し、病気との関連を検証することが必要です。そこで今回、本院で作成したお口の評価表を用いて病気とお口との関連を明らかにするため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

平成 29 年 4 月から令和 9 (2027) 年 3 月の間に、医科治療中の合併症を予防する目的で、広島大学病院口腔総合診療科において口腔管理・口腔ケアを受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから使用する内容は、身長、体重、性別、血液検査（白血球数、好中球数、CRP、Hb、HbA1c、CRE、Alb など）、治療中に生じた肺炎等合併症の有無、口腔内の状態です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院 助教 西 裕美

○ 研究期間

平成 29 (2017) 年 5 月 30 日（委員会承認後）～令和 1 0 (2028) 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5744

広島大学病院口腔総合診療科

河口 浩之、西 裕美